



KART

Journal of the
KANAGAWA Association of
Radiological Technologists

Vol.78 No.5

Jan.2026

320

Feature

「医療の中の放射線」

シリーズ 77

胸部の痛みによる検査と治療

原子力災害時及び大規模災害時の
神奈川県放射線技師会の役割



行動
基準

公益社団法人 日本診療放射線技師会

綱 領

- 一、 わたくしたちは、 医療を求める人びとに奉仕します。
We will render our services to those in need of health care.
- 一、 わたくしたちは、 チーム医療の一員として行動します。
We will act as individual members of a health care team.
- 一、 わたくしたちは、 専門分野の責任をまっとうします。
We will perform our duties in our field of specialty.
- 一、 わたくしたちは、 人びとの利益のために、 常に学習します。
We will continue to study for the benefit of mankind.
- 一、 わたくしたちは、 インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。
We will respect and practice the policy of informed consent.

(平成9年6月14日 第54回 日本放射線技師会総会で採択)

公益社団法人 神奈川県放射線技師会

活動目的・方針

放射線従事者の生涯学習支援を通じて職業倫理を高揚し、放射線技術の向上発達並びに放射線障害防止及び放射線被ばく低減化を啓発し、公衆衛生の向上を図り、もって県民の保健の維持に寄与することを目的及び方針として活動をします。

事業概要事項

1. 放射線従事者の生涯学習支援に関するこ
2. 保健維持事業への協力に関するこ
3. 図書及び学術誌の刊行に関するこ
4. その他目的を達成するために必要なこ



公益社団法人 神奈川県放射線技師会
令和8年・9年度 役員選挙立候補受付について

令和8年1月26日

公益社団法人 神奈川県放射線技師会
選挙管理委員会 委員長 曽我部 秀俊

定款第29条に定める令和8年9年度、理事・監事の立候補を役員選任規程に基づき下記のとおり行います。

記

1. 役員定数

理事 20名以上25名以下

監事 3名（内1名については、外部監事）

2. 候補者の資格

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 役員選任規程第5条に該当する者。

※外部監事資格は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号）第5条16号に則る。

3. 立候補届出

1) 立候補届出書類を神奈川県放射線技師会事務局に電話もしくはメールにて必要書類をご請求下さい。

請求先：045-681-7573／kart_office@kart21.jp

2) 順次事務局よりメールにて必要書類を送付いたします。

3) 立候補届出書類に必要事項を記入し、事務局に持参もしくは郵送にて送付をお願いいたします。

4. 立候補届出受付期間：令和8年3月9日（月）～ 3月27日（金）

5. 届出先：公益社団法人 神奈川県放射線技師会 事務局

事務局に持参される場合は、不在のこともありますので、必ず事前にご連絡の上、お持ち下さい。

郵送の場合、令和8年3月27日（金）を必着とします。

6. 候補者の公示

令和8年4月13日（月）以降に、選挙公報を当会ホームページに掲載します。

7. 投票日及び開票日

令和8年5月29日（金） 第15回 定時総会時

以上

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 事務局
〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町4-9-8
ストーク伊勢佐木1番館501号
TEL: 045-681-7573 / Mail: kart_office@kart21.jp

綱 告	領 示	1
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 令和8年・9年度 役員選挙立候補受付について	2
目 卷	次 項	3
	つながりを大切に、次の一步へ	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 副会長 引地 利昭	4
特 集	「医療の中の放射線」シリーズ 77	
	胸部の痛みによる検査と治療	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 学術委員会	
	公立大学法人 横浜市立大学附属病院 放射線部 山岡 広樹	5
	原子力災害時及び大規模災害時の神奈川県放射線技師会の役割	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 災害対策委員会	11
渉外活動報告	藤沢市「薬と健康の週間イベント」(2025年) 渉外活動報告	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 渉外委員会	
	昭和医科大学 渡邊 裕之	15
	令和7年度 小田原市ふれあい健康フェスティバル渉外活動報告	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 渉外委員会	
	医療法人同愛会 小澤病院 小野 将之	16
	健康チャレンジフェアかながわ 2025 渉外活動報告	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 渉外委員会	
	常務理事 金岩 清雄	17
	中区民祭り「ハローよこはま 2025」渉外活動報告	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 渉外委員会	
	さがみ林間病院 佐藤 唯	18
	かわさき区子育てフェスタ 2025 渉外活動報告	
	川崎市放射線技師会	
	川崎市立井田病院 小菅 友也	19
開 催 報 告	第4回 神奈川県放射線技師会ウォーキング大会	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 厚生委員 佐藤 友基	20
参 加 記	ビッグレスキューかながわ 2025 参加報告	
	公益社団法人 神奈川県放射線技師会 災害対策委員会 早瀬 卓矢	21
地 域 だ よ り	伊勢原・秦野地区 医療施設紹介 東海大学医学部付属病院	
	東海大学医学部付属病院 放射線技術科 崎山 寛大	23
	横浜中部地区 横浜中部地区活動報告	
	横浜市立市民病院 濱谷 誠	24
お 知 ら せ	第21回 神奈川放射線学術大会 開催のお知らせ	25
	神奈川消化管撮影技術研究会 mini 講習会 part3 開催のお知らせ	26
	第119回 神奈川消化管撮影技術研究会定例会 開催のお知らせ	27
	第120回 神奈川消化管撮影技術研究会定例会 開催のお知らせ	28
	第52回 放射線研修委員会学術集会 開催のお知らせ	29
V O I C E	新年のご挨拶	30
	編集後記	30



巻頭言



つながりを大切に、次の一步へ

公益社団法人 神奈川県放射線技師会

副会長 引 地 利 昭

新年を迎え、会員の皆さんにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本会の諸事業に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

干支である午年、そして「丙午（ひのえうま）」の年を迎え、会員の皆さんにおかれましては、それぞれの現場で新たな思いを胸に一年をスタートされることと思います。丙午は、内に秘めた力が外へと表れ、周囲とともに前へ進む年ともいわれております。本会においても、人と人とのつながりを大切にしながら、歩みを進める一年にしたいと考えております。

昨年開催いたしました2025年度関東甲信越診療放射線技師学術大会は、多くの皆さんのご協力のもと、盛会のうちに終了することができました。各都県から多数の方にご参加いただき、活発な意見交換と学びの場が創出されたことは、本会にとって大きな成果であり、今後の活動の方向性を考えるうえでも、大変意義深い機会であったと感じております。改めて、ご参加いただいた皆さん、ならびに開催にご尽力いただいたすべての関係者の皆さんに、心より感謝申し上げます。

本大会の開催にあたっては、実行委員をはじめ、多くの役員・委員の皆さん方が、それぞれの専門性と経験を生かし、準備段階から当日の運営に至るまで献身的に取り組んでくださいました。表に見える場面だけでなく、数多くの調整や確認、地道な作業の積み重ねがあってこそ、大会が無事に開催されたものと認識しております。この場をお借りして、改めて深く敬意を表したいと思います。

本年2月には、第21回神奈川放射線学術大会を

開催予定です。市民の健康づくりをテーマとした体験型企画と、診療放射線技師向け教育講演を実施いたします。詳細につきましては別途ご案内いたしますが、多くの皆さんに关心をお寄せいただければ幸いです。

私自身、副会長として本会の運営に携わる中で、本会の活動が多くの「人」によって支えられていることを、日々実感しております。本務を抱えながらも会のために尽力してくださる役員・委員の皆さん、そして日々の臨床・教育・研究・地域医療の現場で職務に励みながら本会を支えてくださっている会員の皆さん一人ひとりの存在が、公益法人としての本会の価値と信頼を形づくっています。

医療を取り巻く環境は大きく変化し、診療放射線技師に求められる役割や責任は、年々高度化・多様化しています。そのような時代において、専門性を磨き続けることに加え、世代や立場を超えて学び合い、支え合うつながりを育んでいくことが、これまで以上に重要であると考えております。

最後に、来年度は本会において役員改選が予定されております。これまで培ってきた取り組みや思いを次の世代へと確実につなげていくためにも、多くの会員の皆さんに本会運営へ関心をお寄せいただき、それぞれの立場で関わっていただけることを期待しております。

今後も本会が、会員の皆さんにとって学びと交流の場であり続けるとともに、社会に貢献できる公益法人であり続けられるよう、役員一同、力を尽くしてまいります。引き続き、皆さんのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

特集

「医療の中の放射線」シリーズ 77

胸部の痛みによる検査と治療

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 学術委員会
公立大学法人 横浜市立大学附属病院 放射線部 山岡 広樹

はじめに

今回は「胸部の痛み（胸痛）」についてご紹介します。胸痛の原因は多岐にわたり、主に以下の疾患が挙げられます。

心臓の病気	：心筋梗塞・狭心症など
肺の病気	：気胸・肺炎・胸膜炎・肺塞栓症など
消化器系の病気	：逆流性食道炎・胃潰瘍・胃炎など
神経・筋骨格系の病気	：肋間神経痛・肋軟骨炎・帯状疱疹・肋骨骨折など
心因性の痛み	：心臓神経症（ストレス性胸痛）

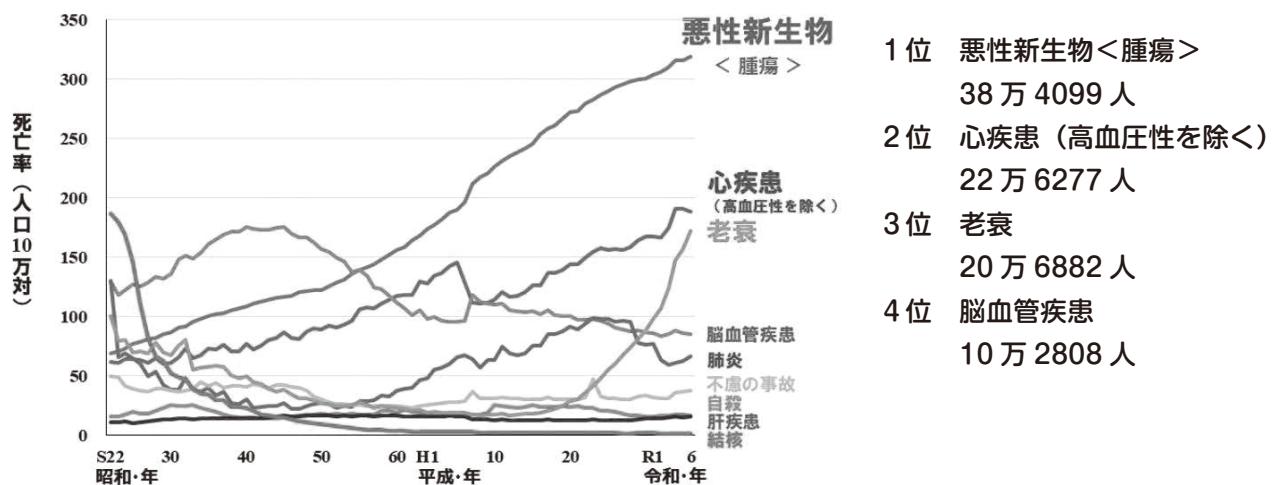
本稿では、特に緊急性の高い「心臓の病気」による胸痛を中心に解説します。

虚血性心疾患について

虚血性心疾患（Ischemic Heart Disease : IHD）は、心筋に酸素と栄養を供給する冠動脈が狭窄または閉塞することで、心筋が虚血に陥る病気の総称です。主に狭心症と心筋梗塞が含まれます。

令和5年（2023年）の厚生労働省「患者調査」にて日本全国で心疾患の患者数は358万人を超えていました。厚生労働省の「人口動態統計（確定数）の概況」によると、心疾患の死因別死者総数は近年20万人を上回り、悪性新生物に続く死亡率となっています（図1）。心疾患の中でも虚血性心疾患は特に多く、その割合は全体の4割以上を占めています。

主な死因別に見た死亡率（人口10万対）の年次推移





■ 狹心症

狭心症は、動脈硬化などが要因で冠動脈が狭くなり、一時的な心筋の血流不足が起き、胸痛などの症状が特徴です。放置すると狭窄が進行し、心筋梗塞へ移行する可能性があります。

〈主な症状〉

- ・胸の中央～左側の圧迫感、締め付けるような痛み
- ・運動、階段昇降、寒さ、精神的ストレスで誘発されやすい
- ・通常1～5分ほどで自然に改善（30分以内）
- ・左肩・腕・首・あごへの放散痛



〈主な原因（動脈硬化のリスク因子）〉

高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙、肥満、加齢、ストレス、家族歴等

〈狭心症の分類〉

- ① 労作性狭心症（安定狭心症）：活動（階段昇降や軽い運動など）で発症。安静で改善。
- ② 異型狭心症（冠攣縮性狭心症）：安静時、特に夜間～早朝に起こりやすい。
- ③ 不安定狭心症：発作が頻回。安静でも発症。痛みが長い。
心筋梗塞の前段階で緊急対応が必要。



■ 心膜炎

心臓を包む膜（心膜）の炎症で、風邪の後などに発症することが多く、深呼吸や咳で痛みが強くなります。多くは軽症で回復しますが、まれに心筋炎などに進行することがあります。

■ 心筋梗塞

冠動脈が完全に塞がり、血流が途絶えて心筋が壊死する危険な病気です。

〈主な症状〉

- ・強い胸痛が30分以上続く
- ・冷汗、呼吸困難、不整脈、吐き気などを伴うことがある
- ・急性冠症候群（ACS）に含まれ、迅速な治療が必要

表1 狹心症と心筋梗塞の比較

項目	狭心症	心筋梗塞
血管の状態	狭窄（血流はある）	完全閉塞
心筋の状態	虚血のみ	壊死
症状の継続時間	数分～15分	30分以上
緊急性	比較的低い	非常に高い（救急要請必要）

○診断方法

狭心症・心筋梗塞は胸部一般撮影（図2）のみで診断はできません。しかし、心臓の大きさや肺うっ血の有無、肺・骨の異常を調べられるため、胸痛の鑑別には有用です。

〈各検査〉

- ・心電図検査（安静時・運動負荷・ホルター心電図）（図3）
- ・血液検査（心筋トロポニン、CK、ミオグロビンなど）
- ・心臓超音波検査（心エコー）（図4）
- ・心筋シンチグラフィー
- ・冠動脈CT検査（図5）
- ・心臓カテーテル検査（冠動脈造影）



図2 胸部一般撮影

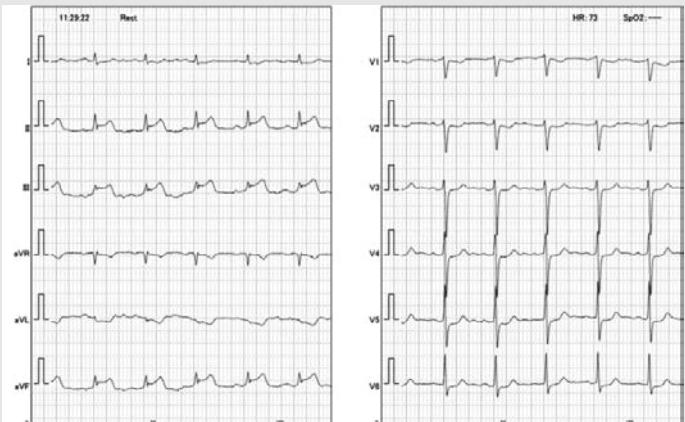


図3 心電図検査

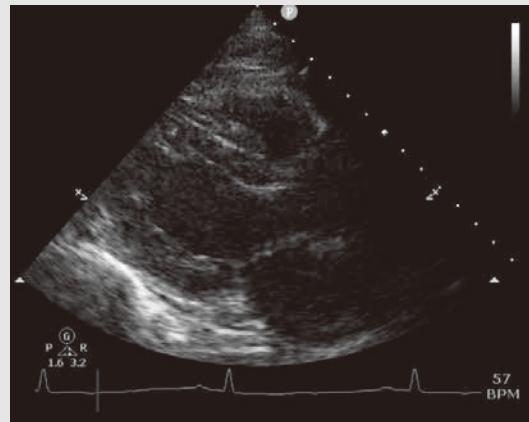


図4 心臓超音波検査

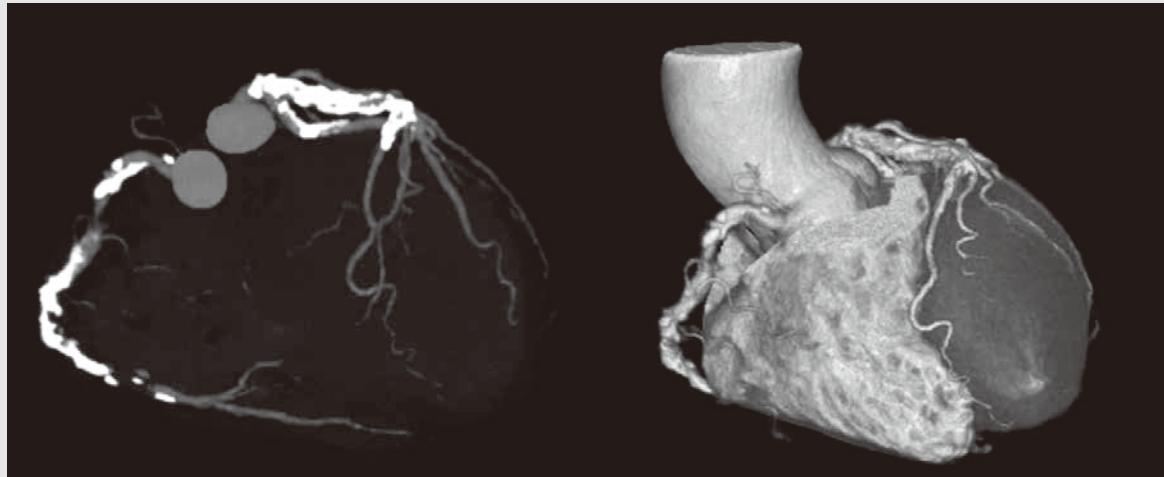


図5 冠動脈CT



○狭心症や心筋梗塞の治療方法

狭心症は「血管が狭い」、心筋梗塞は「血管が詰まった」状態です。心筋梗塞では壊死した心筋は再生しないため、迅速な治療が最重要です。

治療には、薬物療法・カテーテル治療・冠動脈バイパス術があります。

■ 急性冠症候群 (ACS)

急性冠症候群 (Acute Coronary Syndrome : ACS) は、冠動脈の急な狭窄・閉塞により心筋に血液が行かなくなる緊急状態です。不安定狭心症、ST 上昇型心筋梗塞、非 ST 上昇型心筋梗塞などが含まれます。

〈主な症状〉

- ・胸の中央～左側の締め付けられる痛み
- ・腕・肩・首・あごへの放散痛
- ・不安定狭心症：数分～20分の痛み
- ・心筋梗塞：20分以上持続
- ・息切れ、冷汗、吐き気、めまいなど

胸痛が20分以上続く、安静で治まらない場合は直ちに受診・救急要請が必要です！！！



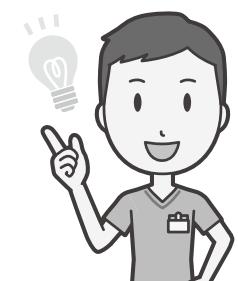
〈診断と治療〉

心電図、血液検査（トロポニンなど）、画像検査（一般撮影やCTなど）で診断し、カテーテル治療：冠動脈形成術（Percutaneous Coronary Intervention : PCI）や薬物療法を迅速に行います。

○冠動脈形成術：PCIについて

狭窄や閉塞した冠動脈を、風船（バルーン）やステント（2～5mm）を使って、血管を広げて血流を改善する治療法です。局所麻酔下で手首や肘または脚の付け根からカテーテルを挿入し治療を行います。ガイドワイヤーやカテーテルを用いて、バルーン、ステントを冠動脈に挿入します。ステントは金属製の網状チューブで、バルーンとともに数秒から20秒程度、膨らませるとステントも拡げられ、血管の拡張が得られて血流が回復します（ステントは留置後、永久的に体内に残ります）。

ひと昔前のバルーンのみの治療では、拡げた部分の血管の細胞修復により、約30%の確率で再狭窄が起きていました。しかし、ステントの登場で、再狭窄率が約10%低減でき、近年では再狭窄を防止する薬剤が塗布されている薬剤溶出性ステント（Drug-Eluting Stent : DES）が登場し、劇的に再狭窄の減少が見られています。また、バルーン表面に薬剤を塗布した薬剤被覆バルーン（Drug-Coated Balloon : DCB）も登場し、条件が合えばステントを留置せず治療を完了できるようになりました。



○ ACSに対するカテーテル治療

50代男性。胸痛で来院し、心電図で ACS が疑われ緊急カテーテル治療を実施しました。

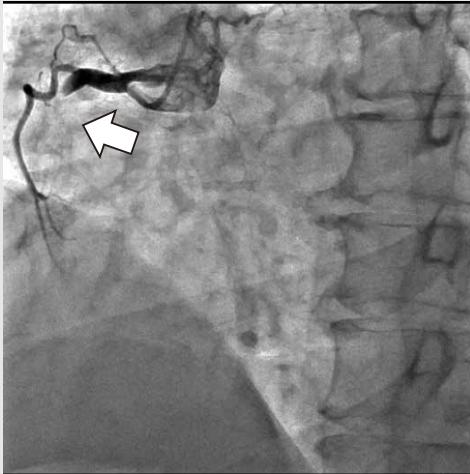


図 6 右冠動脈（最初の造影）

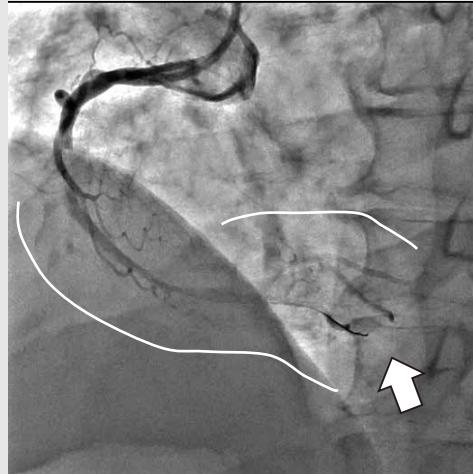


図 7 右冠動脈（ガイドワイヤー通過後の造影）

① 右の冠動脈の最初の造影で、血栓による閉塞が認められました（図 6 矢印）。

② ガイドワイヤーを冠動脈末梢に進め、造影にて全体の形状が確認できました（図 7 矢印）。

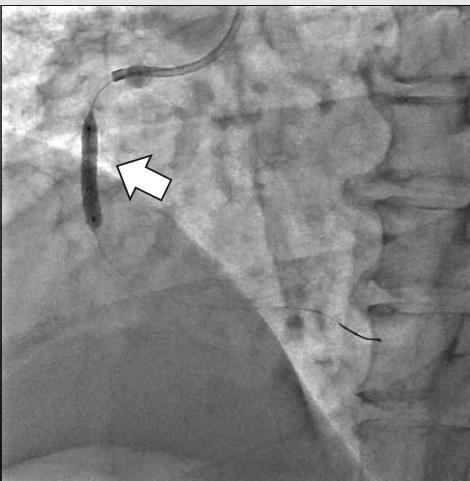


図 8 右冠動脈（病変部にバルーン拡張）

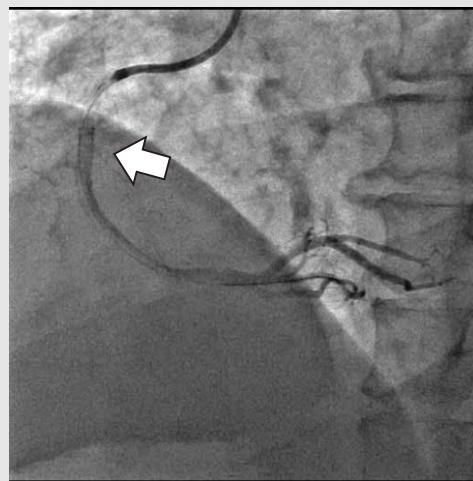


図 9 右冠動脈（病変部にステント留置）

③ 病変部（狭窄部）をバルーンで拡張を行いました（図 8 矢印）。

④ 拡張させた病変部にステントを留置しました（図 9 矢印）。

※途中、血管内超音波 (IntraVascular UltraSound : IVUS) カテーテルを用いることで病変部を内側から観察し（図 10）、バルーンやステントの長さや径のサイズを決定します。またステント留置後は十分な拡張および血管内腔への適切な圧着が得られているかを評価します（図 11 矢印）。

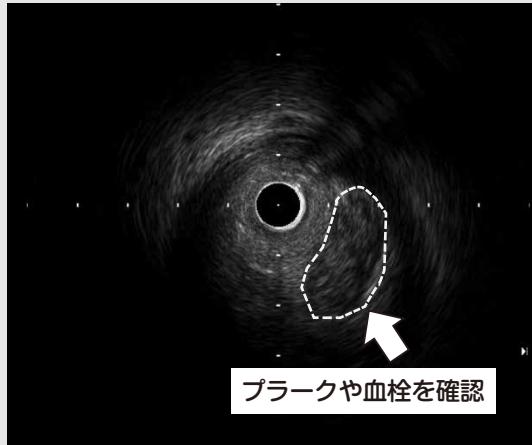


図 10 血管内超音波（右冠動脈病変部）

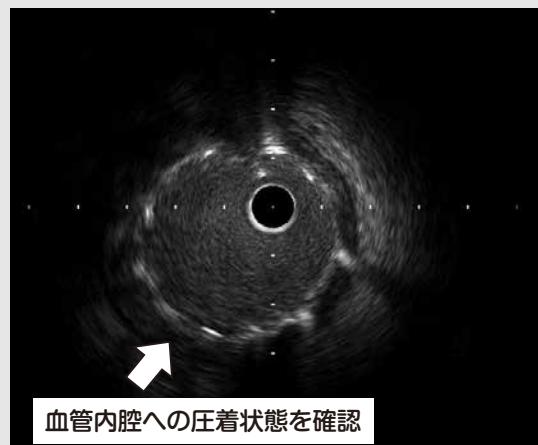


図 11 血管内超音波（右冠動脈ステント留置後）

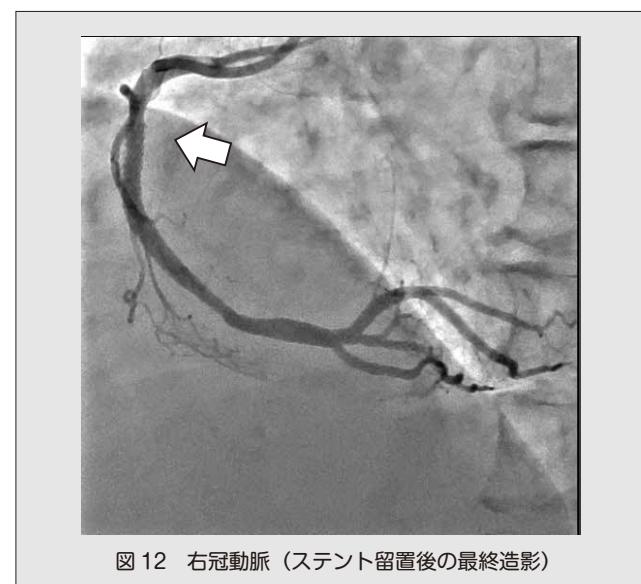
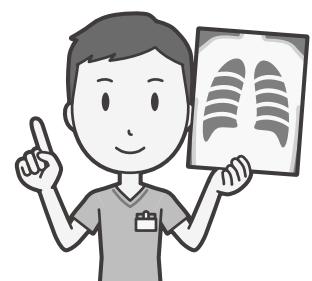


図 12 右冠動脈（ステント留置後の最終造影）



⑤ステント留置後の造影で、病変部の良好な血管の拡張を確認できました（図 12 矢印）。

⑥以上でカテーテル治療の手技が終了となります。

■ 終わりに

今回は胸痛に関して説明させていただきました。胸痛は、命に関わる心疾患のサインであることがあります。早期発見と迅速な治療が何より重要です。疑わしい症状があれば迷わず医療機関を受診してください。何か疑問等や不明な点がございましたら、どうぞお気軽にお近くの診療放射線技師にお尋ねください。

参考文献

厚生労働省公表「令和 6 年（2024 年）人口動態統計月報年計（概数）」

厚生労働省公表「人口動態統計（確定数）の概況」

厚生労働省公表「患者調査」の令和 5 年（2023）調査

healthy-life21.com (<https://healthy-life21.com/2025/06/04/20250604/>)

「医療の中の放射線」シリーズ 60 心臓カテーテル検査・治療について

特集

原子力災害時及び大規模災害時の 神奈川県放射線技師会の役割

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 災害対策委員会

「災害時の医療救護活動についての協定」には神奈川県放射線技師会及び診療放射線技師としての具体的な業務内容が明記されていますが、今号では神奈川県における地域防災計画およびマニュアル等に「神奈川県放射線技師会の役割」がどのように記載されているか解説します。

■ 1. 神奈川県地域防災計画 ～原子力災害対策計画～ 令和4年3月 神奈川県防災会議 発行

計画の目的

この計画は、災害対策基本法及び原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号、以下「原災法」といいます。）に基づき、原子力事業者により放射性物質又は放射線が異常な水準で事業所外（運搬の場合は輸送容器外）へ放出されることによる原子力災害の発生及び拡大を防止し、原子力災害の復旧を図るために必要な対策並びに災害対策基本法に基づき、原子力艦の原子力災害の応急対策活動及び復旧を図るために必要な対策（原子力艦本体及び外国政府の管理下にある区域での対策を除きます。）について、県、市町村、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関、原子力事業者その他関係機関がとるべき措置を定め、総合的かつ計画的な原子力防災事務又は業務の遂行によって、県民の生命、身体及び財産を原子力災害から保護することを目的とします。

神奈川県地域防災計画の主な内容（項目のみ）

第1編 総則（計画の目的、位置づけ等）

第2編 原子力施設等に係る事故災害対策（災害予防対策・災害時の応急対策活動・災害復旧対策等）

第3編 原子力艦に係る事故災害対策（災害応急対策への備え・災害時の応急対策活動・災害復旧対策・その他
原子力艦の原子力災害に関する対応）

となっています。

その中で「神奈川県放射線技師会」は第2編 原子力施設等に係る事故災害対策の第6節 救助・救急、消火及び医療救護活動のなかで、医療救護活動を行う「指定公共機関等」で、（ア）医療機関における放射線防護の実施（イ）検査場所等における周辺住民等の避難退域時検査への協力と役割が明記されています。

よって、原子力災害時に発生した「汚染傷病者」を神奈川県下の医療機関で受け入れる場合で、その医療機関の汚染拡大防止に人手が不足している時及び神奈川県にて避難退域時検査が行われる際は神奈川県放射線技師会が認定している「原子力災害支援者」の派遣等を検討したいと考えています。

■ 2. 神奈川県原子力災害医療マニュアル 令和5年3月 神奈川県健康医療局 発行

はじめに

本マニュアルは、県内の原子力施設である、株式会社グローバル・ニュークリア・フェウル・ジャパン（横須賀市）と東芝エネルギーシステムズ株式会社原子力技術研究所（川崎市）において、原子力災害が発生した場合に、迅速かつ的確に原子力災害医療対応ができるよう、その手順等を現段階での最新の知見をもとに整理したものである。

また、本マニュアルは、原子力災害のみならず、県内における様々な放射線事故等においても準用できるものとしている。なお、令和4年4月6日に改正された原子力災害対策指針に基づく、甲状腺被ばく線量モニタリングの体制整備等については、今後、県の原子力災害医療ネットワーク会議にて検討し、適宜、本マニュアルに反映を行うこととする。併せて、今後、国の原子力災害対策指針及び各関連マニュアルが改正された場合や原子力災害医療に関する新たな知見が得られた場合には、継続的に本マニュアルを見直すこととする。



神奈川県原子力災害医療マニュアルの主な内容（項目のみ）

- 第1章 原子力災害医療の基本的な考え方
- 第2章 原子力災害医療体制
- 第3章 原子力事業者及び行政における対応
- 第4章 原子力災害医療関係機関における対応
- 第5章 原状復帰を目的とした原子力災害医療関係機関等の安全の確認と公表
- 第6章 安定ヨウ素剤の予防服用
- 第7章 健康不安対策とメンタルヘルス対策

「神奈川県放射線技師会」の役割が明記されている項目

第2章 原子力災害医療体制

- 2. 原子力災害医療関係機関
 - (2) 原子力災害協力医療機関
 - ア. 県の登録機関
 - ・横浜市立大学附属市民総合医療センター
 - ・川崎市立川崎病院
 - ・日本医科大学武蔵小杉病院
 - ・横須賀市立市民病院
 - ・横須賀共済病院
 - ・神奈川県医師会
 - ・**神奈川県放射線技師会**

第3章 原子力事業者及び行政における対応

- 3. 県における対応
 - (2) 医療対応
 - 工. 原状復帰を目的とした原子力災害医療関係機関等の安全の確認と公表

県は、被ばく傷病者等の搬送を行った救急車両及び処置を行った原子力災害医療関係機関の求めに応じて、速やかに安全（放射性物質による汚染のないこと）を確認し、その結果を公表するとともに、**神奈川県放射線技師会**、原子力災害医療関係機関及び原子力事業者等と協力し、情報の集約や管理を行い、周辺住民、報道関係者等に的確に情報を提供する。

第5章 原状復帰を目的とした原子力災害医療関係機関等の安全の確認と公表

- 1. 原子力災害医療関係機関
 - (2) 検査要請
 - ・原子力災害医療関係機関は、被ばく傷病者等の処置終了後、原則として県に検査を要請する。
 - ・県は、**県放射線技師会**※に対して、原子力災害医療関係機関の検査を実施するよう要請するとともに、関係市町村と調整の上、検査結果を確認・公表するための職員（以下、「確認者」という。）を原子力災害医療関係機関に派遣する。

※神奈川県と神奈川県放射線技師会は、災害時の医療救護活動についての協定（令和4年3月28日）を締結しており、上記検査要請は、本協定に基づき実施するもの。

(3) 検査実施

- ・県放射線技師会は、県からの要請を受け、会員のうち、県放射線技師会が認定する原子力災害支援者の資格を有する者（以下、「検査者」という。）を原子力災害医療関係機関に派遣する。
- ・検査者は、原子力災害医療関係機関の診療放射線技師及び原子力施設の放射線管理要員等の協力を得て検査を実施する。
- ・検査に使用するサーベイメータは、原則として、事前測定と同一の機器とする。

2. 搬送機関

被ばく傷病者等を搬送する救急車、ヘリコプター（以下、「搬送車両」という。）についても、原子力災害医療関係機関と同様、安全を確認する。

(2) 検査要請

- ・搬送機関は被ばく傷病者等を搬送後、県に検査を要請する。
- ・県は、**県放射線技師会**に対して、搬送車両の検査を実施するよう要請するとともに、関係市町村と調整の上、確認者を搬送車両がある場所（以下、「検査場所」という。）に派遣する。

(3) 検査実施

- ・県放射線技師会は、県からの要請を受け、検査者を検査場所に派遣する。
- ・検査者は、原子力施設の放射線管理要員等の協力を得て搬送車両の検査を実施する。
- ・検査に使用するサーベイメータは、原則として、事前測定と同一の機器とする。

「安全確認」に関する関係者一覧を下表に示す。

安全確認に関する関係者一覧

区分	検査者	確認者	検査結果の公表者
搬送車両(救急車、ヘリ等)及び運転員	・神奈川県放射線技師会が認定する原子力災害支援者	・神奈川県職員 ・関係市町村職員(消防職員含む)	
救護所及び救護所の医療従事者	・原子力施設放射線管理要員		
原子力災害医療協力機関	・神奈川県放射線技師会が認定する原子力災害支援者 ・原子力施設の放射線管理要員 ・原子力災害医療協力機関の放射線技師等	・神奈川県職員 ・関係市町村職員	
原子力災害拠点病院	・神奈川県放射線技師会が認定する原子力災害支援者 ・原子力施設の放射線管理要員 ・原子力災害拠点病院の放射線技師等	・神奈川県職員 ・関係市町村職員	神奈川県(健康医療局)
原子力災害医療関係機関の医療従事者	・神奈川県放射線技師会が認定する原子力災害支援者 ・原子力施設の放射線管理要員 ・原子力災害医療関係機関の放射線技師等	・神奈川県職員 ・関係市町村職員	

このマニュアルには、神奈川県放射線技師会認定の「原子力災害支援者」による、原状復帰を目的とした原子力災害医療関係機関等の安全の確認への協力要請が明記されています。

神奈川県放射線技師会としては要請を受けた後遅滞なく、汚染検査を行う「検査者」を派遣できるように体制整備に努めなければなりません。

■ 3. 神奈川県災害時保健医療救護計画

令和7年3月 発行(神奈川県)

【策定・改正経緯】

- ・平成8年9月(制定) 阪神・淡路大震災での医療救護上の教訓を踏まえ、県地域防災計画のうちの医療救護に係る部分の個別計画として「神奈川県医療救護計画」を策定
- ・平成19年 2月(改定) 法律の改正、県組織の改編等に対応し、一部改定
- ・平成24年12月(改定) 平成23年3月に発生した東日本大震災の検証等を踏まえ、全面改定
- ・平成30年 3月(改定、名称変更) 平成28年4月に発生した平成28年熊本地震の検証、国の制度見直し



を踏まえた体制強化（医療救護本部での調整内容に保健衛生も含めて保健医療調整本部とする）、他の都道府県における災害への応援派遣に関する内容を拡充、前回改定以降の制度変更の反映などを踏まえ、全面改定。名称を「神奈川県保健医療救護計画」へ変更

- ・令和2年3月（改定）平成30年6月の災害救助法の一部改正に伴い、平成31年4月に横浜市、川崎市、相模原市の3市が救助実施市に指定されたことや、前回改定以降に整備した体制等を踏まえ、改定
- ・令和2年10月（改定）県組織の改編、令和2年8月に原子力災害拠点病院の指定を行ったことを踏まえ、一部改定
- ・令和7年3月（改定、名称変更）令和4年7月22日厚生労働省通知「大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について」及び令和6年能登半島地震での取組等を踏まえ、保健医療福祉調整本部を新設するなど、全面改定。名称を「神奈川県災害時保健医療救護計画」へ変更

目的

- ・今後発生が予想される都心南部直下地震、三浦半島断層群の地震、神奈川県西部地震、東海地震、南海トラフ巨大地震、大正型関東地震等とそれに伴って発生する津波や浸水、土砂災害、火災等や、火山災害等の大規模な災害に備え、県民の生命と健康を守るための保健医療福祉体制と活動内容を明らかにする。
- ・局地的な風水害、火山災害、土砂災害、大規模な事故など局地災害の場合でも、被災地域での保健医療福祉活動の体制は、地震を想定した体制と基本的に同様であり、本計画の一部として記載する。

神奈川県災害時保健医療救護計画の主な内容（項目のみ）

第1章 県内の大規模災害における対応

第1節 役割と体制（1.県 2.市町村 3.医療機関等）

第2節 保健医療福祉活動（1.情報の収集と伝達 2.保健医療活動チームの活動（現場支援） 3.災害派遣福祉チームの活動（現場支援） 4.本部支援チームの活動 5.傷病者の搬送 6.医薬品等・血液製剤の確保 7.保健対策 8.生活衛生対策 9.防疫対策 10.要配慮者支援）

第3節 災害フェーズと主な対応（フェーズ1：発災直後（発災直後～およそ1日後） フェーズ2：超急性期（およそ発災1日後～3日後） フェーズ3：急性期（およそ発災3日後～1週間後） フェーズ4：亜急性期（およそ発災1週間後～1ヶ月後） フェーズ5：慢性期（およそ発災1ヶ月後～））

第2章 県内の局地災害等における対応

1局地災害 2原子力災害

第3章 他の都道府県における大規模災害への対応

1県の役割 2災害拠点病院・関係機関等の役割

第4章 平時の対応

1県 2市町村 3医療機関 4災害拠点病院 5災害協力病院 6災害拠点精神科病院

「神奈川県放射線技師会」が明記されている箇所は

第1章 県内の大規模災害における対応

第1節 役割と体制

3医療機関

（6）関係機関等

関係機関は、協定等に基づき、県の要請若しくは自らの判断により相互に連携して保健医療福祉活動等を実施する。

⑩ 神奈川県放射線技師会

神奈川県放射線技師会は、診療放射線技師の派遣、また派遣調整に係る業務支援を行い、医師又は歯科医師の指示の下に行う診療の補助等の必要な措置を行う。

以上、神奈川県の原子力災害時の対策計画や大規模災害時の医療救護対応において、神奈川県放射線技師会及び診療放射線技師の役割が明記されています。

その役割をなるべく支障なく遂行するために締結したものが「災害時の医療救護活動についての協定」（令和4年3月28日）となります。その協定の詳細については次号に解説していきます。

社会活動報告

藤沢市「薬と健康の週間イベント」(2025年)渉外活動報告

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 渉外委員会
昭和医科大学 渡邊 裕之

10月19日（日）、一般社団法人藤沢市薬剤師会・藤沢市・公益財団法人 藤沢市保健医療財団が主催する「薬と健康の週間」イベントが、藤沢市保健所にて開催されました。当イベントでは、薬剤性フレイルについての講演会、お薬相談、チビこども薬剤師体験など、薬に関する多彩な企画が行われました。また、健康チェックとして、血圧測定、握力測定、脳年齢測定、足趾力測定、骨密度測定、乳がん触診体験など来場者が自身の健康状態を気軽に確認できる充実した内容となりました。

今回、神奈川県放射線技師会ブースは、会場である藤沢市保健所1階の多目的室に設置されました。参加メンバー5名（常務理事1名、渉外委員会1名、厚生委員会3名）で骨密度測定及び乳がん触診体験を担当しました。当日は、あいにくの雨模様であったり、メインフロアから少し離れていたりと来場数に懸念がありましたが、最終的には70名を超える方々が来場されました。そのうち、骨密度測定50名、乳がん触診体験32名の方々が、我々のブースに立ち寄っていただけました。

ブースを訪れる方々はご高齢の方が多い印象でしたが、若い家族連れの姿も多く見られました。そのため、骨密度測定の結果説明は、年齢層に応じて内容を工夫しました。ご高齢の方には、転倒予防の重要性に触れながら、運動習慣や栄養の摂り方について具体的にご案内しました。若年層の方には、今後の骨密度の変化や加齢に伴うリスクについて補足説明を行いました。子育て中のお母さんには、子どもの骨形成が将来の骨粗鬆症予防につながることをお伝えし、成長期の生活習慣の大切さを説明させていただきました。また、乳がん触診体験では、近年の乳がん罹患率の上昇もあり、来場者の関心が高く感じられ、熱心に耳を傾けてください、質問も活発に寄せられました。

今回も参加メンバーそれぞれが、来場者に対して、骨密度測定や測定後の結果説明、骨粗鬆症の予防の解説、乳腺ファントムを用いた自己触診の方法について説明し、実際に体験していただくことで、診療放射線技師を知っていただく重要な機会となったのは、確かと思われました。また、本イベントへの参加を通じて、市民の皆様の健康意識の向上に少しでも寄与できたのであれば、医療人としての役割を果たすことができたものを感じております。このような貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。

<活動内容>

- ・ブレストアウェアネス（乳がん触診体験） 32名
- ・骨密度測定 50名





社会活動報告

令和7年度小田原市ふれあい健康フェスティバル涉外活動報告

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 涉外委員会
医療法人同愛会 小澤病院 小野 将之

令和7年10月19日（日）に小田原市中里にありますダイナシティウエストにて開催されました「小田原市ふれあい健康フェスティバル」に、骨密度測定および乳がんファントム触診体験のイベント活動のために参加いたしました。

西湘放射線技師会では、子育て世代に多い乳がんを早期発見するために乳がん検診やセルフチェックの重要性をお伝えすべく例年参加しています。

当日は多くの方々に来場していただき、地域の方々の健康意識の高さを感じるイベントでした。乳がんは女性が罹患するがんの第1位であり年々増加傾向にある病気で、早期発見するためには日常のセルフチェックや定期的な健康診断が大切であることを体験を通してお伝えすることができました。

これからも活動を続け、少しでも多くの方々の健康のお手伝いができれば幸いです。

<活動内容>

- ・骨密度測定 211名
- ・乳がんファントム触診体験 102名



社会活動報告

健康チャレンジフェアかながわ2025渉外活動報告

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 涉外委員会
常務理事 金岩 清雄

令和7年10月25日（土曜日）横浜駅に隣接するそごう横浜店9Fにある新都市プラザにて「健康チャレンジフェアかながわ2025」が開催されました。このイベントに神奈川県放射線技師会の渉外委員会のメンバー4名で参加しました。このイベントは、かながわ健康財団が県民に楽しみながら健康への関心を深めてもらう為に毎年開催している無料イベントです。昨年度は、みとみらい地区にあるクイーンズスクエアで開催されましたが、今年は都合により開催会場が変更となりました。

今年は「カラダ改革、始めよう」をテーマに、血管年齢やロコモチャレンジ、ベジチェックなどの測定ブース、日常の立ち上がりチェック、食事や栄養相談、口腔のケアなどの相談ブースなどが設置されました。とくにオーラルフレイル予防のブースは長い行列が出来るほど盛況であり、来場された市民の方々の健康への意識の高さが伺えました。

神奈川県放射線技師会は、放射線サーベイメータを使用し自然放射線を測定する「放射線を測ってみよう！」コーナーおよび、CT装置の再構成画像から撮影した物体を当てる「クイズ！CT画像これな～に？」コーナーを実施しました。活動は12時から16時までと短い時間でしたが、技師会ブースには延べ113名もの市民の方の来場がありました。

サーベイメータで肥料や温泉の素などを測定することで自然放射線を身近に感じて頂けた方が多く、また、自然放射線量と放射線検査の被ばく線量を比較した早見図を用いて放射線の人体への影響についての理解を深めて頂きました。CT検査についての解説やCT画像のクイズは大変好評で、ブドウや魚（アジ）を撮影した画像を見て「凄い！」、「面白い！」、「答えが分かるとすっきりする！」などの感想が多く聞かれました。

ぜひ来年度も技師会としてイベント参加させて頂き、活動を実施したいと思います。

<活動内容>

- 放射線サーベイメータ体験 48名
- CT画像中身当てクイズ 55名





社会活動報告

中区民祭り「ハローよこはま2025」涉外活動報告

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 涉外委員会
さがみ林間病院 佐藤 唯

2025年11月9日（日）、横浜市中区の象の鼻パークで開催された「ハローよこはま2025」に、神奈川県放射線技師会としてブース出展に参加いたしました。

朝はあいにくの雨。風も強く、毎年このイベントの日はどうも天気に恵まれないようです。それでもお祭り開始時には小雨に変わり、多くの来場者でにぎわいました。ブースにはご高齢の方から家族連れ、若い方、外国人の方まで幅広く参加していただきました。

放射線技師会は神奈川県臨床検査技師会や栄養士会の皆さんと同じブース内で、「乳がんファントム触診体験」と「サーベイメータ一体験」を行いました。

乳がんファントム触診体験では、乳房ファントムを使ってセルフチェックの方法やしこりの感触を体験していただき、定期的な検診や自己触診の大切さをお伝えしました。「こんなに硬いの？！」と驚かれる方も多く、最後には「自分でもやってみます」という前向きな反応もあり、市民の方の意識向上につながったと感じました。

また、サーベイメータ一体験では、GM管式サーベイメーターを使って温泉の素や珪藻土などを測定し、身近なものや生活の中にも放射線が存在する事を知っていただきました。

放射線を「正しく知り、正しく恐れる」ことの大切さや、検査による被ばくを必要以上に恐れず、健康管理に役立てていただきたいという思いを伝えました。

雨の中でしたが、多くの方に放射線や乳がん検診への理解を深めていただけた貴重な一日となりました。今後もこうした活動を通じて、放射線技師として地域の健康づくりに貢献していきたいと思います。



＜活動内容＞

- ・乳がんファントム触診体験 192名
- ・サーベイメータ一体験 115名



社会活動報告

かわさき区子育てフェスタ2025 涉外活動報告

川崎市放射線技師会
川崎市立井田病院 小菅 友也

令和7年11月30日(日)、川崎市役所本庁舎にて「かわさき区子育てフェスタ2025」が開催され、神奈川県放射線技師会および川崎市放射線技師会から計9名で参加しました。本イベントは「子育てしやすい地域づくり」を目指して毎年実施されており、未就学児とその保護者が安心して過ごせる交流の場として、地域にしっかりと根付いています。当日は、生後2か月ほどの赤ちゃんから就学児まで、本当に幅広い年齢のお子さんが来場し、午前中から多くの親子で会場がにぎわいました。年齢に応じて楽しめる企画が揃っていることもあり、随所で笑顔があふれる、温かい雰囲気が広がっていました。

会場では、絵本の読み聞かせや段ボール迷路、うたがいっぱい音楽絵本コンサートなど、子どもたちが積極的に参加できる催しが数多く行われました。段ボール迷路では元気いっぱいに駆け回る姿が見られ、時折聞こえる笑い声が会場全体を明るく彩っていました。一方、読み聞かせコーナーでは、物語に引き込まれるように静かに耳を傾ける子どもたちが並び、同じ会場でありながらも、にぎやかさと落ち着いた時間の双方が心地よく共存していました。保護者の方々が温かなまなざしで子どもたちを見守る姿も印象的で、家族で過ごす休日の良い思い出になったのではないかと感じました。

当会は「おやこのけんこうルーム」ブースにて、超音波による骨密度測定と乳房触診体験を実施しました。4時間という限られた時間にもかかわらず、骨密度測定113名、乳房触診体験67名と、多くの方にご参加いただきました。乳房触診体験では、「実際に触れることでしこりの硬さが明確に分かった」「自己検診の仕方や力加減が理解できた」といった感想が寄せられ、日常的に取り組んでみたいという前向きな声も多く聞かれました。子育て中で自身の健康に十分な時間を割けていない方が多い中、真剣に質問されたり、日頃の不安を率直に相談されたりする姿が見られ、健康に対する意識の高さを改めて感じました。

今回の参加を通し、地域の皆さんと直接交流しながら健康づくりに貢献できたことを大変嬉しく感じています。今後も継続して地域医療に寄与する取り組みに参加し、住民の健康啓発により一層努めていきたいと思います。

<活動内容>

- ・乳がん触診体験 67名
- ・骨密度測定 113名



開 催 報 告

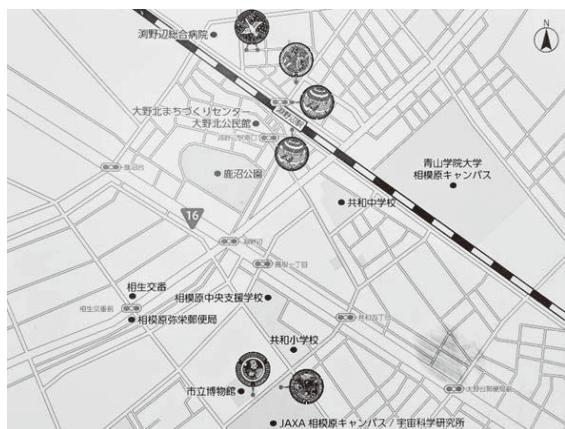
第4回 神奈川県放射線技師会 ウォーキング大会

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 厚生委員会 佐藤 友基

令和7年12月7日(日)、第4回となるウォーキング大会を淵野辺エリアにて開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、爽やかな冬晴れのもと17名の参加者が集合しました。JR淵野辺駅南口の「はやぶさ2カプセル帰還記念デザインマンホール」に集合し、まずは北口周辺のアートマンホール散策からスタートしました。宇宙やアニメをテーマにしたユニークなデザインに足を止めながら、写真撮影や解説を楽しむ姿が見られました。

その後、鹿沼公園で小休憩を挟み、相模原市立博物館に向けて出発しました。博物館までは約6km、約1時間のウォーキングコースで、道中は穏やかな景色が続き、参加者同士が会話を弾ませながら歩くなど、和やかな雰囲気で進行しました。相模原市立博物館では「はやぶさ2カプセル帰還記念」デザインのマンホールカードを収集するなど、各自が自由に楽しみました。続いて訪れたJAXA相模原キャンパスでは、実物大口ケットや展示資料を通じて宇宙開発への理解を深め、記念撮影も行いました。

参加者からは「歩く距離もちょうどよく、充実した内容だった」「普段見られない施設を見学できて良い経験になった」と好評の声が寄せられました。今回のウォーキング大会は、健康づくりだけでなく参加者同士の親睦を深める良い機会となりました。ご参加いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。



参 加 記

ビッグレスキューかながわ2025参加報告

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 災害対策委員会 早瀬 卓矢

今年のビッグレスキューかながわは2025年11月9日（日）9時～12時で三浦市三崎町城ヶ島にある県立城ヶ島公園で開催されました。中央会場が県立城ヶ島公園、地域会場は三浦市立岬陽小学校、向ヶ崎1号、2号出漁準備岸壁、三浦市立病院、横須賀共済病院、横須賀市立総合医療センター、湘南鎌倉総合病院です。内容は中央会場に現場救護所訓練、展示・体験コーナー、救出救助訓練等、ホイスト訓練、ドローン操縦体験です。三浦市立岬陽小学校では、自治体による避難所設置運営訓練、避難所内保健医療福祉活動訓練が、向ヶ崎1号、2号出漁準備岸壁では津波対策訓練が行われました。約3時間の間に各会場で訓練が行われるため一度に全部見学するのは困難ですので、今年は主に津波対策訓練と展示・体験コーナーを見学しました。神奈川県放射線技師会としては、2022年の葉山、2023年の上大井（避難所での医療救護活動に参加）、2024年の愛甲石田に続いて4年連続の参加、見学になります。

11月5日は世界津波の日、津波防災について考える良い機会になりました。訓練は11月9日9時に大規模地震が発生、大津波警報が発令された想定でした。地域住民の避難、観光地のため観光客の避難が行われました。その後、海上に救助者がいる、道路の分断で三浦半島が孤立したという想定で、救助者の救出救助訓練、物資を海上から輸送する訓練が行われました。そこで一番活用されていたのが、ドローン（（株）セキド）でした。



海上での救助救出訓練



海上からの物資輸送訓練



デリバリードローンによる
医療物資のピックアップ



海上での要救助者に対してドローンが誘導し、海上自衛隊、警察の船に情報提供していました。海上からの物資輸送は猿島などの船を運行している（株）トライアングルが船を出し、海上部隊と陸上部隊が連携を取り物資を運んでいました。また船舶が運んできた医療物資は、デリバリードローンが船でピックアップして、陸上に運んでいました。災害時のドローンの活用を目の当たりにして、今後ドローンの操縦を行える診療放射線技師が出てきても面白いと感じました。ドローン操縦体験エリアもあり、今回は雨天で参加できませんでしたが来年は参加してみたいと思います。

展示・体験コーナーエリアは45ブースありました。主に見学したブースは「災害時に活躍！福祉バイオトイレカー」、「排便の臭いを一瞬で解決」、「人とペットの同行避難に備えよう」、「国土地理院関東地方測量部」、「災害時における聴覚障害者、盲ろう者などを知って下さい」、「災害派遣パネル展示」などを見学、体験することができました。様々な団体が災害時にできることを考え取り組んでいることが分かりました。来年は神奈川県放射線技師会としてブースを出展できたらとも考えております。今まで行ってきた診療放射線技師の災害時の取り組みや災害時でも使用できるX線撮影装置の紹介などアピールできることはあると思いました。ビッグレスキューに参加したことで地震対策への理解を深め、日頃の備えに大変参考になりました。是非会員の皆様も来年のビッグレスキューに足を運んでみてはいかがでしょうか。



上：デリバリードローン
下：通常のドローン



城ヶ島公園から見た海上



神奈川 DMAT の訓練前のミーティング



伊勢原・秦野地区 医療施設紹介

東海大学医学部付属病院

東海大学医学部付属病院
放射線技術科 崎山 寛大

当院は37科、病床数804床となっており外来患者数は延べ647726人、1日平均2399人(2024年度)です。放射線技術科は一般撮影、CT撮影、MRI撮影、X-TV撮影、健診、血管撮影、核医学、放射線治療、救急救命センター(MRXO)の9つの部門に分かれており、総勢78人で日々業務を行っています。

当院は三次救急医療施設に認定されており、湘南・県西と一部県央地域の広いエリアで急性期医療を担っています。また神奈川県ドクターヘリの運用医療機関でもあります。

さらに太平洋上での航行、操業中の船舶で発生した傷病者を救命する洋上救急医療や災害拠点病院のひとつとして神奈川県の集団災害医療システムを担うとともにD.M.A.Tを編成し、災害現場に医療チームを派遣する態勢も整備しています。

当院のドクターヘリは1999年から厚生省の試行的事業として運行が開始され、その後2002年より厚生労働省の「ドクターヘリ導入促進事業」として継続され現在に至ります。ドクターヘリは医療機器と医薬品が搭載されており、医師・看護師を現場にいち早く運び直ちに治療を開始できるうえ、救急車では搬送に時間を要する遠距離からでも短時間で患者を搬送することが可能になります。神奈川県最西部の湯河原の場合、搬送時間が救急車では1時間ほどかかりますが、ドクターヘリでは10分程に短縮されます。

そして、ドクターヘリや救急車で搬送してきた患者はMRXOにて検査を行います。

MRXOとはMRI/X-ray/Operation suiteの略称でありCT、MRI、Angioなどと開頭術も可能な手術室を複合させた東海大学付属病院が世界で初めて構築した施設となります。

各々の放射線診断機器は複合して活用することも独立して活用することも可能です。またCT、MRI、Angio、手術台は一直線上に配列され、患者は各々の装置間を天板から乗り移ることなく移動が可能になります。

昼夜を問わず救急患者が搬送されてくるため、我々放射線技師は診療時間外の休日は5名、夜間は3名配置されており、24時間体制で対応を行っています。

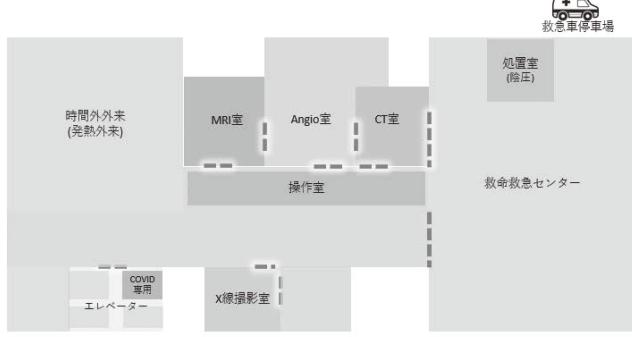


図1 MRXO レイアウト

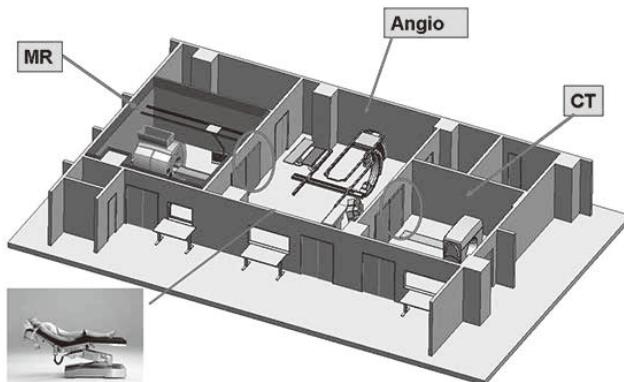


図2 MRXO 模式図



横浜中部地区

横浜中部地区活動報告

横浜市立市民病院

瀧谷 誠

今回の地域だよりは11月7日に横浜北部地区主催の研修会にコラボする形で、横浜中部地区の研修会を開催いたしました。ようやく悲願であった活動再開を迎えることができ、心より嬉しく思います。当日は総勢70名ほど参加いただいたそうです。

今回のテーマは「タスクシフトにおける実践課題と改善への取り組み」でした。当地区より横浜市立大学附属市民総合医療センターの鈴木さんにご登壇いただき、「STAT 画像報告」についてご講演いただきました。その他にもIVRやRI・CTの静脈路確保についてのタスクシフトの現状について、各施設の取り組みをご紹介いただきました。

各施設とも様々な工夫をし、タスクシフトの取り組みをされていました。また、各施設とも、業務効率化や安全性向上に向けて様々な工夫をされており、現場での課題や改善策について多くの意見交換ができたことが大変よかったです。

これをきっかけに横浜中部地区でも勉強会や施設紹介など、気軽に参加できる企画を会長とともに進めてまいります。開催の際はぜひご参加ください。

また、以前よりお願いしておりました横浜中部地区の会員登録を受付中です。下記QRコードからアクセスし、アンケートへのご回答をお願いいたします。登録いただいた方には、勉強会開催などの情報をお届けいたしますので、ぜひご協力をお願いいたします。



中部地区放射線技師会



中部地区放射線技師会

<https://forms.gle/3qXTFMyqhs8Refnk8>

！お知らせ

第21回 神奈川放射線学術大会

「未来を見据えた放射線技術の進化と市民の健康づくり」

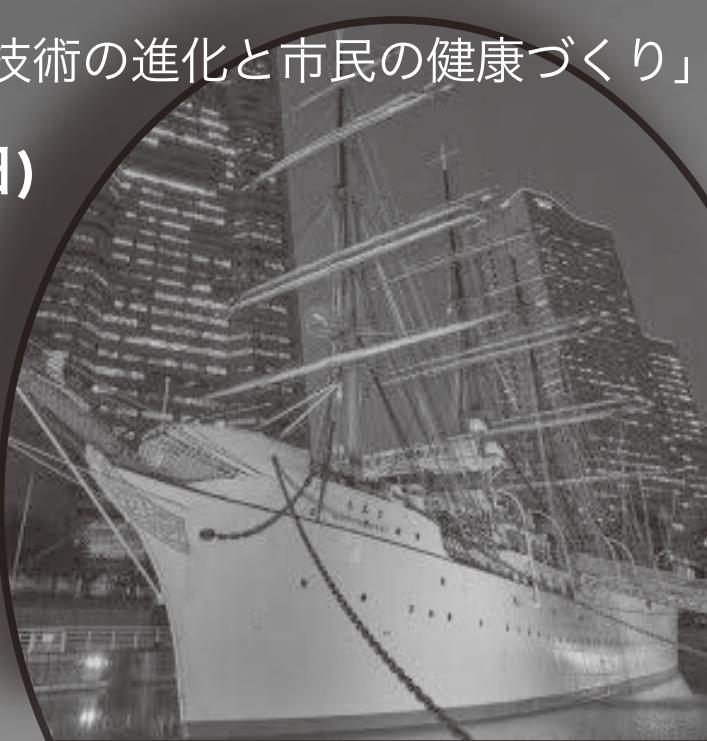
2026年2月22日(日)

11:30～15:30

参加費無料

日本丸メモリアルパーク内
訓練センター

同日プレゼンテーションルームで
市民イベント開催



Program

11:30～ ワクチン接種研修

13:00～

「急性腹症の画像診断

放射線科医師が見ているところ」

藤沢市民病院

谷掛 雅人先生

14:30～

「医療における実践生成AI活用術」

昭和医科大学横浜市北部病院

三澤 将史先生

【主催】 公益社団法人 神奈川県放射線技師会

【大会長】 公益社団法人 神奈川県放射線技師会会长 田島 隆人

【後援】 神奈川県（予定）

神奈川県医療専門職連合会

公益社団法人 日本診療放射線技師会

大会事務局:

横浜市中区長者町4-9-8

ストーク伊勢佐木1番館501

TEL:045-681-7573

E-mail: kanagawa2025@kart21.jp



！お知らせ

初心者
のための

平日の夜にサクッと勉強

明日から使える！

かな消
mini

神奈川消化管撮影技術研究会 mini 講習会 part 3

2026年 2月 9日 (月) 18:40 ~ 20:00

□ 会費：500 円

⌚ 開催：Web視聴 (Zoomウェビナー)

▢ オンデマンド配信 あり

∞ 胃がん検診専門技師資格更新単位 2 ポイント付与



司会：国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 横山 力也

フレッシュヤーズ発表

18:40~19:00

『バリウム検査で感じた壁
-苦手を克服する工夫-』

● 村上 愛佳 講師

こころとからだの元気プラザ

テクニカルセミナー

19:00~20:00

『追加撮影のはなし』

● 杉沢 猛 講師

船員保険 北海道健康管理センター

協賛：堀井薬品工業(株)/ 伏見製薬(株) / カイゲンファーマ(株)

① お知らせ

2026年3月28日(土)

第119回

神奈川消化管撮影技術 研究会定例会

かながわ県民センター301会議室 横浜駅徒歩5分

入場:14:30~ 参加費:1,000円

Web視聴(Zoom視聴)可能 ハイブリッド方式 ※オンデマンド配信有



申込QRコード

Program

司会:京浜メディカルサービス 守山 友也

15:00-15:05 副会長挨拶

公益財団法人 神奈川県結核予防会 中村 真

15:05-15:30 基調講演1

『今更聞けないがん取扱規約』

JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 長岡 学 講師

15:30-16:00 情報提供

①カイゲンファーマ株式会社

②ハイブリッド講習会の作り方

16:00-16:50 基調講演2

『画像から読み取るX線所見・用語解説』

—百聞は一見に如かず!—

元 (一財) 神奈川県労働衛生福祉協会 本田 今朝男 講師

16:50-17:00 休憩

17:00-18:00 シリーズ症例検討

『基準撮影法実施に必要な読影の知識』

公益財団法人 神奈川県予防医学協会 工藤 泰 講師

協賛:堀井薬品工業(株)/ 伏見製薬(株) / カイゲンファーマ(株)

■ 神奈川消化管撮影技術研究会 会長 長岡 学
■ 事務局:JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 放射線室
mail:mnagao@skxp.Hotmail.co.jp



！お知らせ

消化管検査にこれから携わる方

消化管検査を始めて間もない方

会場参加無料（申込不要）

第120回

神奈川消化管撮影技術

2026年

5月23日（土）

15:00～18:00

研究会定例会



申込QRコード

かながわ県民センター301会議室 横浜駅徒歩5分

入場：14:30～ 参加費：1,000円

Web視聴可能なハイブリッド方式 ※オンデマンド配信有

プログラム

司会：地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 大谷 慎

15:05-15:50 テクニカルセミナー

『この4月の入職した人に贈る胃X線撮影講座』

公益財団法人 神奈川県結核予防会 中村 真 技師

15:50-16:05 情報提供 伏見製薬株式会社

16:05-16:50 基調講演

『胃がんX線検診DRLを理解するためのはじめの一歩』

公益財団法人 神奈川県予防医学協会 見本 真一 技師

17:00-18:00 特別講演

『症例検討を楽しむために（仮）』

野村病院 診療部画像診断部門
杏林大学附属病院 放射線医学教室
仲村 明恒 医師

■問い合わせ先

神奈川消化管撮影技術研究会 事務局
mail:kamisyouken@gmail.com

■協賛

堀井薬品工業(株) / 伏見製薬(株) / カイゲンファーマ(株)

！お知らせ

日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部
第52回 放射線研修委員会 学術集会

消化器がん検診のこれから
～放射線技師に今できること～

2026年3月1日（日）10:00-16:00

会場 日経ホール 東京都千代田区大手町 1-3-7

大会長 重松 綾（こころとからだの元氣プラザ）

実行委員長 坂倉 智紀（杏林大学医学部付属病院）

* 胃がん検診専門技師資格更新単位 2ポイント付与



お問い合わせ先

一般社団法人 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部
E-mail : jsgcs52xraytraining@gmail.com

プログラム

- DRLs2025改定に関して
- 大腸CT検査及び認定
- ランチョンセミナー
- 胃X線撮影法マニュアル改定ポイント
- 症例検討会

その他

参加登録
詳細は[こちら](#)から





新年のご挨拶

会員の皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。平素より本会の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は関東甲信越学術大会を本県において開催することができ、多くの会員の皆様ならびに関係各位のご協力のもと、盛会裡に終えることができました。準備・運営にご尽力いただいたすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。本大会は、地域の枠を超えた学術交流が図られ、放射線医療のさらなる発展に向けた意義深い機会となりました。

本年度は診療報酬改定の年であり、放射線医療を取り巻く環境は転換期を迎えていきます。高度化・多様化する医療ニーズに的確に対応するためには、安全で質の高い提供体制を維持・強化とともに、改定の動向を正確に把握し、現場の実情に即した取り組みを進めることが不可欠です。今回の改定では、本体改定率が+3.09%と32年ぶりの高水準となり、物価・賃金の上昇や医療提供体制の安定確保を重視した内容であり、放射線医療分野においても、質と安全性の向上につながる制度運用が期待されます。

こうした状況を踏まえ、本会でも「患者安全を最優先とした質の高い放射線医療の推進」「専門職の技術と役割が正当に評価される仕組みの確立」「持続可能な医療提供体制の構築」を基本方針として位置付けて参ります。安全管理・線量管理の徹底、高度な専門技術の適切な評価、チーム医療の推進、業務の効率化と医療DXの活用を通じ、質の向上と負担軽減の両立できるよう、情報共有を図りながら会員の皆様と考えて参りたいと思います。

本年度は役員改選の年でもあり、本会にとって節目の年となります。これまでの基盤を大切にしつつ、時代の要請に応じた新たな挑戦を積極的に進めてまいります。

結びに、本年が会員の皆様一人ひとりにとって実り多き一年となり、本会のさらなる発展につながりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

公益社団法人神奈川県放射線技師会

会長 田島 隆人

編集後記

Editor's postscript

この2年ほど通勤でシェアサイクルを使っている。きっかけは最寄駅前にシェアサイクルのポートができしたこと。それまではバスでターミナル駅まで移動していた。自転車での通勤は、移動時間の短縮、バス運賃の半額ほどで自転車をレンタルできる、健康診断の数値改善、仕事への切り替え、帰りが雨予報でも気にせず乗車できる点などメリットが多い。不惑を超える自身の健康維持も気になる年代となりました。今年も一年シェアサイクルを多く利用して健康づくりに励みたいと思います。

編集委員会

(委員長) 木本 大樹

小菅 友也・林 大輔・大河原 伸弘・小栗 丹・新田 正浩・
上遠野 和幸・津久井 達人



Visit Our Website
kart21.jp/

発行所
発行者
印 刷

令和8年1月26日 Vol.78 No.5 Jan.2026 (No.320)

公益社団法人 神奈川県放射線技師会

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町4丁目9番地8号

ストーク伊勢佐木1番館501号 TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578

E-mail : kart_office@kart21.jp URL : http://kart21.jp/

田島 隆人

山王印刷株式会社

〒232-0071 横浜市南区永田北2丁目17-8 TEL 045-714-2021(代)

無断転写、転載、複製は禁じます



公益社団法人 神奈川県放射線技師会誌
かながわ放射線だより

KART

Vol.78 No.5
Jan.2026
320

令和8年1月26日発行
ISSN 1345-2665

発行／公益社団法人 神奈川県放射線技師会
U R L : kart21.jp/
E-mail : kart_office@kart21.jp

